

TDA
イノベーション
プロジェクト

08

TDA

日本の繊維産業の復活のミッションに向けて
日本の産地を改めてリサーチし
未来を拓く活動に繋げる為の研修ツアー●会期：2017年7月21日(金)～22日(土)
●会場：新潟県十日町
●主催：日本テキスタイルデザイン協会

TDAイノベーションプロジェクト企画第2弾



1日目 7月21日(金)

新潟県十日町は、着物産地の地として知られています。伝統と現代の狭間で真摯な活動を続けています。又、全国に先駆け産地、行政、教育機関を結びつけたインターンシップ制度をいち早く制度化した十日町市の決断や、(株)きものブレイン岡元松男社長の前向きな経営理念と新工場の新設運営には学ぶものが多かったと思います。今野理事長、東郷副理事長、中山理事、怡田理事、田中理事をはじめ21人が参加しました。

7月21日十日町駅前に10:30集合、大型タクシー2台に分乗し十日町織物業協同組合事務局長 越村伸弥氏の案内で工場見学に出発しました。

最初に根啓織物を見学。高級織物、明石ちぢみの伝統をつぐ、十日町ちぢみ織、経糸に変形筈を使ってよるけ縞出しによる高級薄手の絹織物を生産しています。その高度な技術と美しさに感嘆しました。



次に(株)桐屋を見学しました。振袖の1品ものから型友禅、辻が花紋等あらゆる技法を駆使して高級着物を一貫生産している工場です。京都の分業体制と違い、染色から加工仕上げまで一貫した生産体制を取っています。



次に(株)シルクワークを見学しました。シルクワークは友禅などの蒸し水洗加工、生糸の精練染色加工、白生地を精練、生地の撥水加工などを手がけている整理加工業の会社です。関東一帯から整理の仕事が入ってくるそうです。



一日目最後は、渡吉織物を見学しました。三代続く経糸に緯糸をすくい色替えるめづらしい織物で、十日町織物伝統工芸士の認定を受けており経糸のくり、糸とり、染め、織り出し等を一族の皆さんがそれぞれ担当して他に類のない仕事をしています。

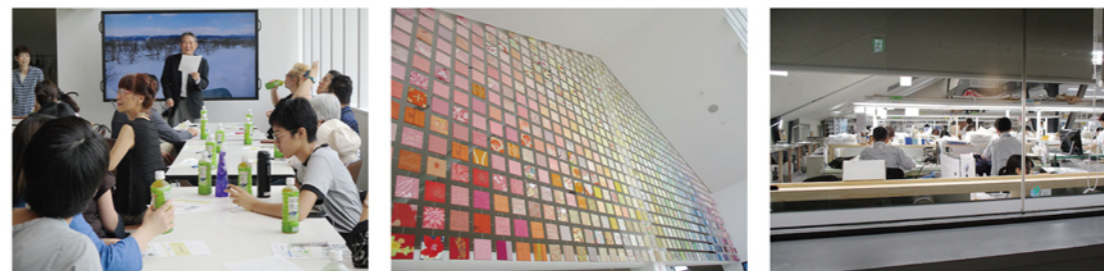


2日目 7月22日(土)

7月22日、9時40分ホテル出発。

10時、(株)きものブレイン新工場見学。きものブレインは、雇用260余名を抱えたきもの再生の一大工場です。ユニークな工場経営で新工場は観光型工場として設計されています。社内の壁面には古着の着物生地約800枚で構成された虹のアートが施されたレリーフがあり、トリエンナーレへの参加意欲がうかがえました。

古くなった高級着物を洗いから補修、加工仕上げまで一貫して美しく新品同様に再生させる技術は素晴らしいものです。岡元社長の前向きな姿勢と経営理念には学ぶものが多くありました。日本の明日を拓く希望を感じました。



TDA

西脇ツアー

日程：2017年 9月9日(土)
参加者：23名 TDA会員(11名) 一般(3名) 学生(4名)
西脇デザイナー(5名)

TDAイノベーションプロジェクト



先染め産地の西脇の6社の見学と若い産地企業デザイナーとのランチ交流を行いました。

《門脇織物株式会社(ASABAN)》 <https://www.asaban-aoyama.net/>
麻織物を復活させる取り組みとして麻を植え、育て、紡ぎそして織るASABANプロジェクトをスタート、今では麻製品をショップイベント・展示会で販売されています。
麻の倉庫にも案内して頂き参加者の質問にも暑い中詳しく説明していただきました。
麻畑で花の咲く時期にも行ってみたいASABANでした。

西脇ツアー

《CONCENT》 <http://nishiwaki-fashion.com/coworking/>
西脇ファッション都市構想の一環としてのワーキングスペース
平成29年4月23日にオープンし、パソコン・各種マシン・撮影機材などの設備が整備されており、産地のデザイナー、研修生、学生等が播州織の製品の開発や試作を行うワークスペースとして提供されているそうです。
県外からも受け入れていただけるようで近くにあればと思う施設でした。産地デザイナーとの交流お食事は
《来住(きし)邸》 <http://www.umekichi-tmo.jp/kishi/>
旧来住家住宅(きしけいじゅうたく)は国登録有形文化財として登録されている建物の座敷でゆったりと会食ときれいなお庭で記念撮影。
若い人の多い懇親会は先の岡山ツアーに続き嬉しいことでした。
皆さんのここでの仕事への経過や西脇への熱き思いをしっかりと話されていたのが頼もしく印象的でした。